

コロナ禍の災害に備える。

— 会津地方防災訓練並びに西会津町総合防災訓練を実施しました —



5. 避難行動要支援者避難訓練



4. 避難訓練



7. 避難者割振訓練 (福祉避難所への移送)



6. 避難者受入訓練



8. 車両避難者対応訓練



の屋内での訓練では、町長や町職員が災害応急対策について協議を行い、福島県や東北電力ネットワーク(株)から派遣されたリエゾン(情報連絡員)に物資を要請し、ライフラインの復旧状況の連絡を受けました。また、避難訓練では、一般の避難者のほかに、避難行動要支援者(災害時に自力での避難が困難な高齢者や障がい者など)の避難訓練を実施し、民生児童委員や町消防団員が介助を行いながら避難所まで誘導しました。

避難所では、避難スペースのソーシャルディスタンスを確保するとともに、町職員が防護服やマスク、フェイスシールド、手袋を着用し、新型コロナウイルス感染症に配慮した避難所の運営を行いました。避難所生活が困難な避難行動要支援者の福祉避難所(憩の森など)への移送や、町公民館に避難した新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者の医療機関への移送など、本番さながらに万に備えた対応を確認しました。

《訓練の様子》

災害対策本部設置訓練など

町では、地域防災計画に基づき、災害対策本部を設置し、災害応急対策を開始、関係機関の応援を得ながら情報の収集や、新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所の開設等を開始した。

《訓練の想定》

新型コロナウイルス感染症が収束しない状況下において、台風による大雨や地震が発生し、西会津町内に土砂崩れや倒壊家屋等の被害が発生した。

町では、地域防災計画に基づき、災害対策本部を設置し、災害応急対策を開始、関係機関の応援を得ながら情報の収集や、新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所の開設等を開始した。

会津地方防災訓練並びに西会津町総合防災訓練が、9月6日に町役場周辺を会場として実施されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、関係者のみでの実施となりましたが、当日はケーブルテレビで生中継を行い、町民の皆さんにも訓練の様子が伝えられました。



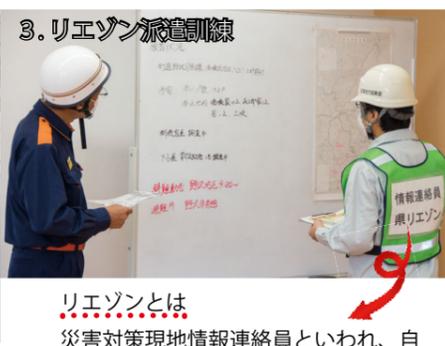
11. 炊き出し・食料配布訓練



10. 避難者移送訓練



9. 避難所での様子



3. リエゾン派遣訓練

リエゾンとは
災害対策現地情報連絡員といわれ、自治体のニーズを把握し、県など様々な支援機関との調整を行う。



2. 情報収集訓練



1. 災害対策本部設置訓練

災 害から身を守るため、日頃から家族や親戚、友人と避難について考えましょう。

家庭での防災対策を確認

近年、全国各地で毎年のように自然災害が発生しており、昨年の台風19号では西会津町の一部でも道路や田畑が冠水するなどの被害が発生しました。

地震や大雨などの自然災害は、時として、想像を超える力で襲ってきます。防災対策には、自分自身や家族で備える「自助」、地域で助け合う「共助」、行政が行う「公助」の3つがあります。災害時には、これらが互いに連携し一体となることで、被害を最小限にするとともに、早期の復旧・復興につながります。

防災対策では、自分の身の安全を守るために一人一人が取り組む「自助」が大切です。家庭でも取り組める防災対策として、下記のことについて確認し、災害に備える意識を持ちましょう。

避難のタイミングを知る

平成31年3月に「避難勧告等に関するガイドライン」(内閣府)が改定され、住民は「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自らの判断で避難行動をとるとの方針が示されました。この方針に沿って自治体や気象庁などから発表される防災情報を活用して、住民がとるべき行動を直感的に理解しやすくするよう、5段階に区分した警戒レベルを町が提供するものとなりました(図表参照)。

警戒レベル「3」が発令されたら、高齢者や障がい者など避難に時間がかかる人やその支援者は危険な場所から避難し、それ以外の人は避難の準備をすること、そして警戒レベル「4」が発令されたら、対象となる地域の人は危険な場所から全員避難することが重要です。

自分の命は自分で守るという意識をもって、適切な行動をとりましょう。

図表 警戒レベル一覧

警戒レベル	とるべき行動	情報
警戒レベル 5	既に災害が発生している状況 命を守るための最善の行動をとる	災害発生情報 (西会津町が発令)
警戒レベル 4	全員速やかに安全な場所へ避難する	避難勧告、避難指示(緊急) (西会津町が発令)
警戒レベル 3	避難に時間を要する人(高齢者など)は避難する その他の人は避難の準備を整える	避難準備・高齢者等避難開始 (西会津町が発令)
警戒レベル 2	ハザードマップなどにより自らの避難行動を確認する	洪水注意報、大雨注意報等 (気象庁が発表)
警戒レベル 1	災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁が発表)

※2020年9月時点。

※気象庁等が発表する防災気象情報のほか、町が様々な情報を踏まえ避難情報を発令するため、同じ警戒レベルの防災気象情報と避難情報が必ずしも同じタイミングで出るとは限りません。

新型コロナウイルスと避難

新型コロナウイルス感染症状況下の避難行動において、避難所へ移動することが必ずしも最善の選択とは限りません。災害状況に応じて、次のように自分がとるべき行動を判断しましょう。

◆避難所が密集状態になることを避けるため、安全な所にある親戚・知人宅への避難を検討する。

◆ハザードマップを確認し、自宅で安全を確保できる場合は在宅避難を検討する。

◆避難所へ避難する場合は、マスクや消毒液などが不足している場合もあるため、自ら携行するよう心がける。

◆やむを得ず車中を避難先とする場合には、明るい時間帯に浸水しない安全な場所へ移動する

〈問い合わせ先〉

町民税務課 町民生活係
☎45-2215

非常用持出し品の確認

日用品など 乳幼児がいる家庭 感染症対策

- ◆家族で災害時に必要なものがそろっているか、その保管場所がどこかを確認しましょう。
- ◆飲料水や非常食は定期的に消費と買い足しを行い、懐中電灯やラジオも正常に動作するか確認しましょう。

<input type="checkbox"/> 貴重品 	<input type="checkbox"/> ヘルメット、防災ずきん 	<input type="checkbox"/> ビニールシート 	<input type="checkbox"/> 生理用品 	<input type="checkbox"/> 粉ミルク、ほ乳瓶、離乳食
<input type="checkbox"/> 懐中電灯 	<input type="checkbox"/> 筆記用具 	<input type="checkbox"/> ティッシュ 	<input type="checkbox"/> 非常食 	<input type="checkbox"/> マスク
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ 	<input type="checkbox"/> 厚手の手袋(軍手) 	<input type="checkbox"/> 救急箱 	<input type="checkbox"/> 飲料水 	<input type="checkbox"/> アルコール消毒液、除菌シート
<input type="checkbox"/> 予備の電池、バッテリー 	<input type="checkbox"/> 毛布・タオル 	<input type="checkbox"/> 持病の薬 	<input type="checkbox"/> 衣料品 	<input type="checkbox"/> 体温計

家族の連絡先の確認

- ◆家族や、その職場または学校の所在地と電話番号について確認しておきましょう。また、親戚や友人などの非常時の連絡先についても確認しておきましょう。
- ◆確認した連絡先は、メモに残し保管しておきましょう。
- ◆災害伝言ダイヤル「171」や災害用伝言板など、緊急時の連絡方法を確認し、その使い方を知っておきましょう。

避難所・経路の確認

- ◆西会津町ハザードマップを活用し、避難所の場所を確認しましょう。また、土砂災害警戒区域などの地域の危険箇所を把握しておきましょう。
- ◆避難経路は複数決めておき、一度家族全員で歩いて下見をしておきましょう。



◀町ホームページから西会津町ハザードマップを確認できます